

サポートルームだより

2026年7月6日 No.4
町田市立成瀬小学校
サポートルーム拠点校
校長 吉成 美紀
サポートルーム担当

サポートルームでは友達との関わり方や気持ちの伝え方について指導しています。「相手の話を最後まで聞く」「順番を守る」「困ったときには周りの人に助けを求める」といったソーシャルスキルが、よい経験を積み重ねることで少しずつ身に付いてきています。

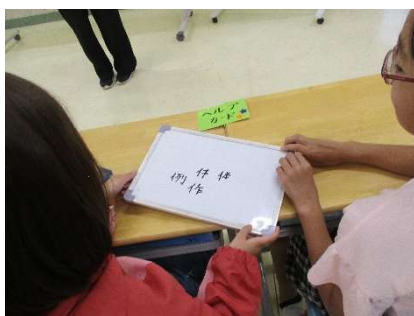
7月は、1学期のまとめの時期です。これまでの学びや頑張りを振り返り、日々の学校生活につなげられるよう支援していきます。

～ 小集団指導 「問題解決すごろく」から ～

「問題解決すごろく」は、教員から出された課題にチームで協力しながら挑戦するすごろく形式の活動です。難しいときには、「ヘルプカード」を使うことで教員や友達にヒントを求めたり、友達に手伝ってもらったりできるルールです。

今回は、ヘルプカードに援助要請の伝え方を示したことで、子供たちは「教えてください。」「ヒントをください。」など、自分から教員に質問したり助けを求めたりする姿が見られました。また、友達と相談しながら課題を解決し、チャレンジに成功してコマを進めることができると、「やった!」「進めた!」と嬉しそうな様子が見られました。

私たち大人も、人に頼ったり手伝ってもらったりすることで日常生活を送っています。この活動では、難しいときは友達と相談したり、分からないことを聞いたり、必要に応じて周囲の力を借りたりしながら課題に取り組むことを大切にしています。活動を通して、互いに協力しながら問題を解決することのよさや、人に頼ることの大切さを学ぶ機会となりました。





7月の小集団指導

※予定は変更になることがあります。

活動名	活動内容
協力ドミノ (中・高学年)	・チームで相談して並べ方を決め、分担してドミノを完成させる活動です。倒したとき失敗を批判せず、前向きに解決することや、時間の見通しをもって取り組み、慎重に根気強く並べることを通し、やり直しができることの大切さを学びます。
伝えよう (ストーリー) (中・高学年)	・例えば植物の生長のようにストーリーのある絵を一人一コマずつ配り、コマの情報を互いに伝え合い、元の話はどんな話なのかを話し合う活動です。手元の絵を相手に分かりやすく伝える方法を学びます。
カードゲーム (1・2年生)	・ぼうずめくり、ババ抜き等を通して、ルールや順番を守ったり、勝ち負けにこだわらず、気持ちを切り替えたりする方法を学びます。
しまをわたろう (1年生)	・床に並べた段ボール板を小島に見立て、島から落ちないように、ペアで品物を運ぶ活動です。相手の様子や動きをよく見て声を掛け合ったり息を合わせたりして協力することを学びます。
フライングクイズ (2年生)	・2枚並べた衝立の間を通った文字やものが何だったのか相談する活動です。よく見る・見続ける力や、ペアで相談して答えを決める力を養います。分からないときは、「もう一度お願いします。」と頼むことで援助要請するよさを学びます。

お知らせ

☆サポートルーム指導期間は以下の通りです。

1学期・・・7月13日(月)まで

2学期・・・9月 7日(月)～12月14日(月)

☆2学期以降のグループ編成について

サポートルームに2学期から新たに通級する児童が増えるため、2学期以降のグループ編成や個別担当の教員が変更となる場合があります。ご理解ご協力をお願いします。

☆11月 中学校サポートルームの説明会について

11月中旬に、成瀬小学校にて、中学校サポートルームの説明会を行う予定です。成瀬小学校、高ヶ坂小学校の保護者の方が対象です。

南成瀬中学校と町田第二中学校のサポートルームの先生方が中学校のサポートルームについて説明します。個別相談の時間も設ける予定です。ご都合がつけばぜひご出席ください。詳しくはまた後日お知らせいたします。

なお、説明会対応のため、実施日はサポートルームの指導はありません。